

# 細木あけみ議会だより

## 第7号

発行  
令和5年11月

細木明美事務所

〒690-0332  
松江市鹿島町佐陀本郷27-3  
携帯  
090-4577-8002  
E-mail  
info@hosogi-akemi.jp  
ホームページ  
http://www.hosogi-akemi.jp

### 「仙台市と歴史つながる鹿島町」

今年8月に、会派（明政会）で仙台市を訪れました。目的は、仙台市が進める「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略」についての研修と、仙台市議会議長に面会し、来年1月で休止するFDA（フジドリムエアラインズ）出雲―仙台便の運航再開への支援をお願いすることでした。

仙台市に行く前に、視察予定の「仙臺緑彩館」（青葉山公園にある仙台市の祭りやイベントを紹介する施設）を調べていたところ、その敷地が、伊達政宗の重臣・片倉小十郎の屋敷跡であることに目が止まりました。というのも、この片倉小十郎の墓が鹿島町片倉にあり、「片倉」の地名も「片倉」の姓からきていると

昔から伝えられているからです。私たちは会派の議員で片倉小十郎の墓に行き、今も大切に管理をされている姿を見て、またよくご存知の地元の方に、様々な資料を見せていただくとお話をお聴きしたのち仙台市に向かいました。

もともと、松江市と仙台市は、松平治郷（不昧）公の正室「しず姫」は、仙台伊達家6代藩主伊達宗村公の娘であるという歴史的にも深いつながりがありますが、鹿島町ともつながる仙台市が、直行便の休止によってまた遠い国になってしまふことが、今は只々残念でなりません。

細木 明美

### 今任期後半の役職が決定しました

お知らせが大変大変遅くなり、載せるのをちょっと躊躇しましたが（笑）、今任期の前半が終わり、後半の役職が令和5年5月17日開催の臨時議会において決定しましたので、やっぱりお知らせいたします。正副議長（吉金隆議長、柳原治副議長）とともに、常任委員会や特別委員会等の構成委員と正副委員長が選出されました。

私の所属は以下のとおりです。

【常任委員会】

総務委員会（副委員長）

【特別委員会】

島根原子力発電対策特別委員会

（副委員長）

【その他諸組織】

島根県原子力発電所周辺環境安全

### 事務所ができました！

この仕事をしながらずっと思っていたのは、「皆さんに気兼ねなく来てもらえる場所が欲しい。」「皆さんとおしゃべりできる場所が欲しい。」ということでした。そしてこのたび、多くの人にお世話になり念願叶って事務所を開設いたしました。

場所は、みしまや鹿島店さんの近くで、数年前まで建設会社の事務所として使われていた所を借りて改装しました。大掛かりな改修は事業者さんをお願いしましたが、私も所属している鹿島shi結女（かしましむすめ）のDIYチームで壁を塗ったり、床板を張ったりしましたので手作り感満載アットホームな雰囲気事務所です。また、フラワーチームのお姉さまたちが季節の花を植え、暑い夏も毎日水やりをした花壇が迎えてくれます。

前を通られた時に、私の車が停まっていたら気軽に寄ってきてください。また、遠くから来られる方は出かけていることも多いので、ぜひ連絡してから来てください。（携帯090-4577-8002）

皆さん！お待ちしております！！



対策協議会  
尚、会派では幹事長を務めます。

### 松江水郷祭を終えて…

皆さんは、今年の水郷祭はどちらで見られましたか。そして、ご存知のように、今年は有料観覧席が大幅に拡大されました。金額設定についてもいろいろなご意見が出ましたが、皆さんはどのように思われましたか。



もちろん、今後も継続していくために、経費のこを考えると一部を有料にするのは理解できますが、特に橋北の六道湖畔はほとんどが有料席になりましたので、一体誰のための水郷祭なのかと正直思いました。実際に、多くの市民の皆さんから不満の声も上がりました。

この花火のことについては、松江水郷祭推進会議において様々な決定がなされます。松江水郷祭も、全国的にも有名な花火大会に負けないような質の高いものにして、県外からの観光客を増やすことも、有料観覧席の目的の一つとされています。既にアンケート調査の結果により、有料観覧席は一定の評価を得て、設定価格等の検討はされますが、今年のように有料観覧席を設置して来年も8月3日（土）、4日（日）の2日間開催されるようです。

### 2024年問題とは…

最近、テレビや新聞の報道で、「2024年問題」という言葉をよく耳にします。これは、働き方改革法案が改正され、令和6年からドライバーの労働時間に上限が課せられることによって生じる問題の事で、物流・運輸業界では今までのように長距離で物が運ばなくなるのではないかと、また、現在でも運転手不足に悩む公共交通業界においては更に拍車をかけることにつながります。もちろん、これはそうしたドライバーの労働環境の向上を図るための重要な改正ですが、私たちの生活には大きな影響を与えそうです。

### 11月定例会日程

◆ 11月28日（火） 本会議（会期の決定、提案説明）

◆ 12月4日（月） 本会議（一般質問）

◆ 12月5日（火） 本会議（一般質問）

◆ 12月6日（水） 本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）

◆ 12月7日（木） 総務委員会・予算委員会総務分科会

◆ 12月8日（金） 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会

◆ 12月11日（月） 経済委員会・予算委員会経済分科会

◆ 12月12日（火） 建設環境委員会・建設環境委員会現地視察

◆ 12月15日（金） 予算委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決）

◆ 12月20日（火） 本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

# 令和4年度 定例会 一般質問の内容

今回は令和4年度に行った一般質問の主な内容を紹介します。

## 【令和4年6月定例会】

### 松江産アワビの陸上養殖および栽培漁業について

(質問) (令和4年) 4月25日、アワビ種苗生産および陸上養殖の実用化に向けた技術交流に関する覚書の締結式が、本市と株式会社青木あすな

る建設、学校法人玉川大学の間で執り行われました。この覚書の内容と締結式の様子について市長に伺う。

(回答) 取水システムの構築、陸上養殖の研究、研究者交流、人材育成、研究施設及び設備の相互利用に3者が共同で取り組む。締結式では、玉川大学小原学長から、養殖産業における人材育成に貢献できるのではないかと、青木あすな建設社社長からは、これまでも漁港、漁場の整備に携わっており、これからも水産振興に寄与したいという思いが述べられた。本市としても、今後産官学の連携により技術革新(イノベーション)を起し、地域における第一次産業振興の成功モデル、ロールモデルを構築してまいりたいと考えている。本市のアワビ種苗が全国区と目録にして取り組んでいく。(上定市長)

(質問) 令和3年11月議会で質問した、過疎計画に記載された恵曇港・周辺活性化事業について上定市長は、鹿島・島根栽培漁業振興センターにおいて順調に生産されている良質なアワビの種苗を活用し、海面

及び陸上養殖の推進によって付加価値の高いアワビを安定的に供給することで、松江産アワビのブランド化とブランドイメージの定着を図り、水産振興につなげてまいりたいと答弁された。陸上養殖場の整備について、市としてどのように考えているのか。計画があるのか伺う。

(回答) 出荷サイズまでの陸上養殖を行うためには、現在の生産量以上に種苗を確保しなければならぬことから、現センター近郊の用地を確保して、施設を拡張した上で種苗を増産する必要がある。増産体制が整った後に、養殖事業を行う民間事業者を募り、現地法人を立ち上げてもらうなどして、現地雇用に結び付けることを思い描いている。(産業経済部長)

このほか、次の2項目についても質問しました。

● 市の施設利用に対する考え方について

● EV車の普及について

【令和4年11月定例会】(代表質問)

### 松江市の土地利用制度について

(質問) 松江カントリーのゴルフ場跡地に太陽光発電のソーラーパネルが立ち並ぶことになった。私有地のため所有者の意向とあれば致し方ないのかもしれないが、市として何か手立てはなかったのか。こうした結果を招いた松江市の土地利用制度は、一体何のための誰のための制度だったのか。市の見解を伺う。

(回答) 松江カントリークラブの跡地は、原則として開発が抑制される市街化調整区域であり、住宅団地の開発やアパートの建築はできないが、農林業用施設の建築や太陽光発電設備の設置などは可能な場所となっている。民有地であり、最終的には所有者の意向によって、土地の売却や利活用の方法が判断されるため、行政の考えで土地の使い道をコントロールできるものではないが、一般論として、大規模な土地であり、地域にメリットがある形で有効に活用されるのが望ましいものと考えている。(上定市長)



機器の活用に精通しているわけではない。不慣れた教員にとっては、ある程度の負担感があるものと考えている。そのため、令和4年度、学校教育課内にICT教育推進係を新設し、機器操作のサポートや、ICTを活用した授業の助言や研修等、現場に伴奏しつつ、取組の拡充・推進を図っているところである。また、通知表作成など成績処理の迅速化などのICT化の推進により、教員の負担軽減についても取組が進んでいるところである。(教育長)

このほか、次の7項目についても質問しました。

● 松江駅前再整備と殿町再開発について

● 宿泊税と観光協会の今後について

● 特定地域づくり事業協同組合について

● 0歳児見守り訪問「おむつ定期便」について

● 道路清掃車の導入について

● 水道事業の広域化について

● 原子力防災訓練について

【令和5年2月定例会】

島根原子力発電所について

年間4千5百万円の増額となり、総額が23億8千万円と見込んでいる。電源立地地域対策交付金は、公共用施設整備や住民福祉の向上に資する事業に対して交付されており、これまで市道根連木池平線、市道深田野原線などの道路整備や鹿島中学校の整備のほか、路線バス車両の購入、城西公民館、雑賀公民館の整備などに活用している。島根原発2号機が再稼動した場合の電源立地地域対策交付金の増額分についても、地域振興に寄与する目的で活用を図ってまいりたいと考えている。(理事)

このほか、次の2項目についても質問しました。

● 2024年問題について

● 「ヘルンとセツ」にみる松江のまちづくりについて

### 編集後記

11月3日に島根町ふれあいフェスティバルが開催され、私は鹿島島根ライオンズクラブで参加しました。11月だというのに半袖でも暑いぐらいのお天気の中、会場のマリンゲートは朝から大賑わい。会場いっぱいのお店者はほとんど島根町の事業者や団体だと聞き、まちを盛り上げようと頑張る皆さんの意気込みを、あらためて肌で感じた一日でした。楽しそうな子どもたちの笑顔が今でも思い出されます。

昨年より26日も早く初雪が降り、急にやってきました冬に体がついて行きませんが、インフルエンザも流行っていますので、皆さんどうかご自愛ください。